

5 高等学校における道徳教育(平成19年度広島県教育資料から抜粋)

道徳教育は、高等学校においても小・中学校同様に学習指導要領の総則にその目標が示され、その中で「人間としての在り方生き方に関する教育を学校の教育活動全体を通じて行う」ものとされており、具体的には次の7点が目標として記されている。

- ア 人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を培う
- イ 豊かな心をはぐくむ
- ウ 伝統的な文化を継承し、発展させ、さらに個性豊かな文化の創造に努める人間を育成する
- エ 民主的な社会及び国家の形成発展に努める人間を育成する
- オ 平和的な国際社会の実現に貢献できる人間を育成する
- カ 未来を拓く主体性のある日本人を育成する
- キ 道徳性を養う

これらの目標を踏まえ、今後は、すべての高等学校において、それぞれの特色を生かした道徳教育についての意図的・計画的な実践がなされなければならない。そのために、まずは、高等学校における道徳教育の全体計画の作成や各教科等における指導内容を道徳教育の視点から整理し確認する必要がある。その過程において、教職員全員が学校のビジョンや目標、育てたい人間像に対する共通認識をもって日々の教育活動にあたることが大切である。

＜各教科等で育むことのできる道徳的価値の分析(例)＞ (可部高等学校)

		項目	1	2	3	4	5	6	7
			生命	愛	日本人	自由	幸福	働く	人間
	内容(例)	生命倫理		愛とは何か(恋愛、家族愛、思想家の愛)	日本人的なもの見方・考え方	自由とは何か	進歩し続ける文明との関わり方	健全な勤労観の育成	人間とは何か、自分とは何か
		脳死		温かい人間愛	精神風土	相互の人権を尊重する生き方と	文明の発達は、人間を幸福にし	職業と余暇	弱さ醜さの克服
		クローン		無償の愛	比較文化		科学者の責任	ボランティア活動	気高い生き方
		生命への畏敬						国際貢献	
		臓器移植と物心二元論等						福祉	
		宗教的もの見方・考え方							
	関連価値	生命尊重 死生観 畏敬の念 自然愛護 審美	思いやり 真理愛 人間愛	郷土愛 愛国心 文化の継承 文化の創造 誇り 異文化理解	権利と義務 公正公平 社会連帯 公德心 自由	真の幸福 平和 国際理解 環境	勤労 自己実現 理想社会の実現 奉仕 相互扶助 感謝	自我同一性 自己肯定感 個性の伸長 個性の尊重	
	学習指導要領との関連	ア 人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を培う	イ 豊かな心をはぐくむ	ウ 伝統的な文化を継承し、発展させ、さらに個性豊かな文化の創造に努める人間を育成する	エ 民主的な社会及び国家の形成発展に努める人間を育成する	オ 平和的な国際社会の実現に貢献できる人間を育成する	カ 未来を拓く主体性のある日本人を育成する	キ 道徳性を養う	
年次	教科	科目	生命	愛	日本人	自由	幸福	働く	人間
1	国語	国語総合(現代文)	「羅生門」 「わたしの夏」 「クローン問題と現代の幻想」 「なめとこ山の熊」	「ナイン」 詩歌	「水の東西」 「やっぱり」	「わたしが一番きれいだっとき」 「自由の制服」	「季節」 「自由の制服」	「季節」 「インタビューをする」 「ナイン」	「ベルセウスの鏡」 「羅生門」 「わたしの夏」 「なめとこ山の熊」
		国語総合(古典)	「かくや姫」	「伊勢物語」 「万葉集」 「古今和歌集」	「徒然草」		「塞翁馬」 「論語」		「徒然草」 「平家物語」 「論語」
		国語表現Ⅰ							他人や自己の観察力を育てる。コミュニケーション能力(音声と表記)を育てる。